

各高等学校長様

栃木県高等学校文化連盟放送専門部会

部会長 遠井 努

(栃木県立小山西高等学校長)

[公印省略]

第73回NHK杯全国高校放送コンテスト栃木県予選関係資料の送付について

日頃は本部会事業についてご理解をいただきありがとうございます。

さて、標記のことについて、下記のとおり送付いたしますので、貴職下関係職員へ御周知下さり、生徒の参加についてよろしく御高配下さるようお願いいたします。

なお、放送部のない学校でも出場できます。放送委員会、視聴覚委員会、映画研究部、文化映像部、デジタル放映部、放送・記録写真部、ボランティア部等の名称で放送専門部会に加盟している学校もごございます。また、これらの部、委員会等が存在しなくても出場が可能です。(ただし、生徒のみでの大会参加はできません。教員の引率が必要です。)該当すると思われる部、委員会等がない場合、国語科、視聴覚教育担当の先生等にお渡ししていただけたら幸いです。

アナウンス部門、朗読部門は、生徒1名から出場可能です。多くの学校に参加していただけますようよろしくお願いいたします。

記

- 1 大会開催通知
- 2 2026 NHK杯栃木県予選 部門別提出書類・物品一覧表
- 3 校内放送研究 No.199 2026.3 のダウンロードのご案内
(第73回NHK杯全国高校放送コンテストならびに校内放送活動研究集会 要項)
※5月15日(金)に行われる栃高文連放送専門部会総会(会場:栃木県立小山西高等学校)に出席される学校には、総会当日「校内放送研究 No.199 2026.3」をお渡しいたします。
- 4 メールアドレスの登録のお願い
- 5 開催要項(令和8年版)
令和8年度栃高文連放送専門部会第48回放送コンテスト 兼
第73回NHK杯全国高校放送コンテスト栃木県予選
- 6 研究発表使用機材について
- 7 栃木県立宇都宮工業高等学校でのお願い
- 8 第73回大会について注意事項
- 9 減点基準
- 10 参加申込書(申し込みは電子メールでおこなう)
- 11 番組部門、研究発表部門作品用ラベル
- 12 不測の事態による大会の運営方法・審査方法の変更、延期判断、およびその後の対応について
- 13 栃木県立宇都宮工業高等学校校舎案内図

各高等学校長様

栃木県高等学校文化連盟放送専門部会

部会長 遠井 努

(栃木県立小山西高等学校長)

[公印省略]

令和8年度栃高文連放送専門部会第48回放送コンテスト 兼
第73 NHK杯全国高校放送コンテスト栃木県予選の開催について

日頃は本部会事業についてご理解をいただきありがとうございます。

さて、標記のことについて、下記のとおり開催いたしますので、貴職下担当職員へ御周知下さり、生徒の参加についてよろしく御高配下さるようお願いいたします。

記

- 1 名 称 令和8年度栃高文連放送専門部会第48回放送コンテスト 兼
第73回NHK杯全国高校放送コンテスト栃木県予選
- 2 主 催 栃木県高等学校文化連盟放送専門部会
NHK宇都宮放送局
- 3 後 援 栃木県高等学校教育研究会視聴覚部会
- 4 目 的 現代に生きる高校生の豊かな人間性の育成と、未来への展望をもつ人間としての
成長をめざし、校内放送活動をメディアリテラシーの実践として位置づけ、情報
発信としての放送活動の発展をはかる。
- 5 日 時 第1日 令和8年6月13日(土) 8:30～16:30
朗読部門審査、研究発表・ラジオドキュメント部門・テレビドキュメン
ト部門・創作テレビドラマ部門審査、創作ラジオドラマ部門作品提出
第2日 令和8年6月14日(日) 8:30～16:00
アナウンス部門審査、創作ラジオドラマ部門審査
全部門審査結果発表・表彰式、全国大会推薦手続き
- 6 会 場 栃木県立宇都宮工業高等学校(宇都宮市雀宮町52番地)
- 7 参加資格 2026年7月現在、県内高等学校及び中等教育学校の後期課程、特別支援学校
の各高等部、高等専門学校(第3年次までの生徒)、専修学校及び各種学校(修
業年限が高等学校と一致していること)に在籍中の生徒及びその生徒の制作した
作品であること。他のコンテスト・コンクール等に参加した作品及びそれを改変
・改編した作品の参加は認めない。
参加校の顧問は、コンテストの審査・運営に携わる。
- 8 参加できる数 1名からでも参加できます。(先生の引率が必要です。)
(1) アナウンス・朗読部門は、**各部門1校6名**まで(1名1部門に限る)。
(2) 研究発表、番組部門(ドキュメント、ドラマ)は各部門複数の参加を認める。
(ただし、全国大会への推薦は各校とも各部門1作品に限る)
- 9 参加要領 別冊の「開催要項」(令和8年度版)及び「校内放送研究」No.199(2026.3)参照
- 10 申し込み 令和8年5月15日(金)必着(期限厳守)
学校単位で教員が申し込み手続きを行う。
参加申込書(Excel形式)を、**前 事務局(上三川高校) 関 望美先生**あてに
電子メールで送付する。e-mailアドレス seki-n01@tochigi-edu.ed.jp
番組部門のタイトル(作品名)が決定していない場合は、「未定」と記入する。
送信後、1日以上たっても、参加申込書を受理した旨のメールの返信が無い場合
は、**前 事務局**へお問い合わせください。

- 1 1 問い合わせ 事務局（県大会の大会運営等）に関する質問は、
〒323-0007 小山市松沼741
栃木県立小山西高等学校内 栃高文連放送専門部会事務局
担当：星野 利憲(ほしの としのり)
TEL 0285-37-1188 FAX 0285-37-0741
E-mail hoshino-t02@tochigi-edu.ed.jp

大会要項や番組制作に関する質問は、

- 前 NHK杯全国高校放送コンテスト都道府県担当者
栃木県立栃木翔南・佐野東高等学校 非常勤講師
坂本 一隆（さかもと かずたか）
E-mail sakamoto19690310@icloud.com

- 1 2 原稿、台本（番組進行表）、作品の提出について

- ・アナウンス、朗読原稿（各9部）は、5月29日（金）午後5時必着で、前事務局に送付するか持参する。FAXで送らないでください。宅配便等配達記録の残る形で送付してください。
- ＜県立学校の先生にお願い＞ 原稿等の提出に、使送は使用しないでください。
- ・番組進行表（2部）および番組作品（CD-Rまたは、DVD-R）は、6月13日（土）9時までに会場受付に持参する。研究発表も台本（番組進行表等）の提出が必要です。創作ラジオドラマ部門の番組進行表と作品の提出も6月13日（土）9時です。

- 1 3 キャンセル、作品名の変更について

- ・参加申込み後のキャンセルは、5月29日（金）までに変更内容を、前事務局（上三川高校 関 望美先生）へ、電子メールでお願いします。当日になってのキャンセルは受付の混乱や進行の遅れを招きますので、ご協力をお願いします。
（5月30日）から当日までの期間のキャンセルは参加料をいただきます。）
- ・作品名の変更がある場合は、5月29日（金）までに前事務局へ連絡をお願いします。

- 1 4 参加料について

- ・アナウンス部門と朗読部門は1名につき1,000円、番組部門は1作品（発表）につき1,500円を第1日目（アナウンス部門のみに参加の学校は、第2日目）に会場受付で学校毎にまとめて納入して下さい。
- おつりの無いようにご協力願います。事務局では、おつり用の小銭は用意いたしません。

- 1 5 表 彰

- (1) 各部門の上位入賞者・優秀作品を表彰します。また、上位入賞者・優秀作品に得点を与え、学校単位に得点を集計して総合成績でも表彰をします。
- (2) 表彰・得点については「開催要項」（令和8年度版）のとおり。

- 1 6 注意事項

- (1) 「校内放送研究」No199(2026.3)および一緒に送付した各種資料をよく読んで遺漏のないようにしてください。不明な点は、そのままにせず、前NHK杯都道府県担当者の坂本 までお問い合わせください。
- (2) 研究発表の県予選は、会場でパソコンを用いたプレゼンテーションとなります。また、「校内放送研究」No199（2026.3）の16～17ページをよく確認して下さい。県予選で使用するパソコンはWindows11、PowerPoint 2021です。
- (3) 県予選における原稿、番組の台本、作品の返却は、いたしません。
- (4) 番組審査時は、代表生徒またはそれに準じた生徒が必ず自校作品の発表に立ち会ってください。

- 1 7 全国大会 番組部門（研究発表部門を除く）の準々決勝のみデータ審査になります。

- ・総合受付：7月20日（月）14:00～17:00 この日に全ての参加校が受付を済ませる。
- ・準々決勝：アナウンス・朗読7月21日（火）、番組7月9日（木）～11日（土）
※番組の7月21日（火）は、審査ではなく、発表になります。
- 研究発表の発表前機材チェック（新規に設定）：7月21日（火）
- ・準決勝：7月22日（水） ・研究発表・交流会：7月22日（水）
- ・決勝（NHKホール）が7月23日（木）に行われます。
- 詳細は、県予選終了後、全国大会推薦校に文書をお渡しします。

放送部、放送委員会、視聴覚委員会等加盟各部、委員会顧問 様

栃木県高等学校文化連盟放送専門部会

部 会 長 遠井 努

(栃木県立小山西高等学校長)

[公印省略]

令和8年度栃高文連放送専門部会第48回放送コンテスト 兼
第73回NHK杯全国高校放送コンテスト栃木県予選の開催について

日頃は本部会事業についてご理解をいただきありがとうございます。

さて、標記のことについて、下記のとおり開催いたしますので、貴職下担当職員へ御周知下さり、生徒の参加についてよろしく御高配下さるようお願いいたします。

記

- 1 名 称 令和8年度栃高文連放送専門部会第48回放送コンテスト 兼
第73回NHK杯全国高校放送コンテスト栃木県予選
- 2 主 催 栃木県高等学校文化連盟放送専門部会
NHK宇都宮放送局
- 3 後 援 栃木県高等学校教育研究会視聴覚部会
- 4 目 的 現代に生きる高校生の豊かな人間性の育成と、未来への展望をもつ人間としての
成長をめざし、校内放送活動をメディアリテラシーの実践として位置づけ、情報
発信としての放送活動の発展をはかる。
- 5 日 時 第1日 令和8年6月13日(土) 8:30～16:30
朗読部門審査、研究発表・ラジオドキュメント部門・テレビドキュメン
ト部門・創作テレビドラマ部門審査、創作ラジオドラマ部門作品提出
第2日 令和8年6月14日(日) 8:30～16:00
アナウンス部門審査、創作ラジオドラマ部門審査
全部門審査結果発表・表彰式、全国大会推薦手続き
- 6 会 場 栃木県立宇都宮工業高等学校(宇都宮市雀宮町52番地)
- 7 参加資格 2026年7月現在、県内高等学校及び中等教育学校の後期課程、特別支援学校
の各高等部、高等専門学校(第3年次までの生徒)、専修学校及び各種学校(修
業年限が高等学校と一致していること)に在籍中の生徒及びその生徒の制作した
作品であること。他のコンテスト・コンクール等に参加した作品及びそれを改変
・改編した作品の参加は認めない。
参加校の顧問は、コンテストの審査・運営に携わる。
- 8 参加できる数 1名からでも参加できます。(先生の引率が必要です。)
(1) アナウンス・朗読部門は、**各部門1校6名**まで(1名1部門に限る)。
(2) 研究発表、番組部門(ドキュメント、ドラマ)は各部門複数の参加を認める。
(ただし、全国大会への推薦は各校とも各部門1作品に限る)
- 9 参加要領 別冊の「開催要項」(令和8年度版)及び「校内放送研究」No.199(2026.3)参照
- 10 申し込み 令和8年**5月15日(金)** **前 事務局必着**(期限厳守)
学校単位で教員が申し込み手続きを行う。
参加申込書(Excel形式)を、**前 事務局(上三川高校) 関 望美先生**あてに電
子メールで送付する。e-mailアドレス seki-n01@tochigi-edu.ed.jp
番組部門のタイトル(作品名)が決定していない場合は、「未定」と記入する。
送信後、1日以上たっても、参加申込書を受理した旨のメールの返信が無い場合
は、**前 事務局**へお問い合わせください。

- 1 1 問い合わせ 事務局（県大会の大会運営等）に関する質問は、
〒323-0007 小山市松沼741
栃木県立小山西高等学校内 栃高文連放送専門部会事務局
担当：星野 利憲(ほしの としのり)
TEL 0285-37-1188 FAX 0285-37-0741
E-mail hoshino-t02@tochigi-edu.ed.jp

大会要項や番組制作に関する質問は、

前 NHK杯全国高校放送コンテスト都道府県担当者
栃木県立栃木翔南・佐野東高等学校 非常勤講師
坂本 一隆（さかもと かずたか）
E-mail sakamoto19690310@icloud.com

- 1 2 原稿、台本（番組進行表）、作品の提出について

- ・アナウンス、朗読原稿（各9部）は、5月29日（金）午後5時必着で、前事務局に送付するか持参する。FAXで送らないでください。宅配便等配達記録の残る形で送付してください。
- ＜県立学校の先生にお願い＞ 原稿等の提出に、使送は使用しないでください。
- ・番組進行表（2部）および番組作品（CD-Rまたは、DVD-R）は、6月13日（土）9時までに会場受付に持参する。研究発表も台本（番組進行表等）の提出が必要です。創作ラジオドラマ部門の番組進行表と作品の提出も6月13日（土）9時です。

- 1 3 キャンセル、作品名の変更について

- ・参加申込み後のキャンセルは、5月29日（金）までに変更内容を、前事務局（上三川高校 関 望美先生）へ、電子メールでお願いします。当日になってのキャンセルは受付の混乱や進行の遅れを招きますので、ご協力をお願いします。
（5月30日）から当日までの期間のキャンセルは参加料をいただきます。）
- ・作品名の変更がある場合は、5月29日（金）までに連絡をお願いします。

- 1 4 参加料について

- ・アナウンス部門と朗読部門は1名につき1,000円、番組部門は1作品（発表）につき1,500円を第1日目（アナウンス部門のみに参加の学校は、第2日目）に会場受付で学校毎にまとめて納入して下さい。おつりの無いようにご協力願います。おつりの用意はしません。

- 1 5 表 彰

- (1) 各部門の上位入賞者・優秀作品を表彰します。また、上位入賞者・優秀作品に得点を与え、学校単位に得点を集計して総合成績でも表彰をします。
- (2) 表彰・得点については「開催要項」（令和8年度版）のとおり。

- 1 6 注意事項

- (1) 「校内放送研究」No199(2026.3)および一緒に送付した各種資料をよく読んで遺漏のないようにしてください。不明な点は、そのままにせず、前 NHK杯都道府県担当者の坂本までお問い合わせください。
- (2) 研究発表の県予選は、会場でパソコンを用いたプレゼンテーションとなります。また、「校内放送研究」No199(2026.3)の16～17ページをよく確認して下さい。県予選で使用するパソコンはWindows11、PowerPoint 2021です。
- (3) 県予選における原稿、番組の台本、作品の返却は、いたしません。
- (4) 番組審査時は、代表生徒またはそれに準じた生徒が必ず自校作品の発表に立ち会ってください。

- 1 7 全国大会 番組部門（研究発表部門を除く）の準々決勝のみデータ審査になります。

- ・総合受付：7月20日（月）14:00～17:00 この日に全ての参加校が受付を済ませる。
- ・準々決勝：アナウンス・朗読7月21日（火）、番組7月9日（木）～11日（土）
※番組の7月21日（火）は、審査ではなく、発表になります。
研究発表の発表前機材チェック（新規に設定）：7月21日（火）
- ・準決勝：7月22日（水）
研究発表・交流会：7月22日（水）
- ・決勝（NHKホール）が7月23日（木）に行われます。
詳細は、県予選終了後、全国大会推薦校に文書をお渡しします。

2026NHK杯栃木県予選 部門別提出書類・物品一覧表

< チェック用紙 >

全部門

✓	提出書類	提出締切日	提出先
	参加申込書 ※締め切り厳守 ※栃高文連放送専門部会のグループ・グループでメール配信された Excel 形式のファイルを入力して、メールで 前 事務局 あてに送信する。 (上三川高校 関 望美先生 seki-n01@tochigi-edu.ed.jp)	5/15(金) 必着 電子メール	上三川高校 関 望美先生

アナウンス部門

✓	提出書類	提出締切日	提出先
	原稿 (9部) ※締め切り厳守 遅れた場合は失格になります。 ※NHK杯全国高校放送コンテストで指定の様式を原稿用紙として使用する。(手書き可) 前 事務局へ提出後は、原稿の変更はできません。	5/29日(金) 午後5時必着	上三川高校 関 望美先生

朗読部門

✓	提出書類	提出締切日	提出先
	原稿 (9部) ※締め切り厳守 遅れた場合は失格になります。 ※NHK杯全国高校放送コンテストで指定の様式を原稿用紙として使用する。(手書き可) 前 事務局へ提出後は、原稿の変更はできません。	5/29日(金) 午後5時必着	上三川高校 関 望美先生

ラジオドキュメント部門・創作ラジオドラマ部門

✓	提出書類・作品	提出締切日	提出先
	番組進行表 (2部) ※NHK杯全国高校放送コンテストで指定の様式を使用する。 PCでデータ入力し、印刷したものを提出する。	6/13日(土) 午前9時	会場受付
	作品 MP3形式のデータファイル CD-RまたはDVD-R(2枚)		

※創作ラジオドラマ部門のみの参加で第1日目に参加しない場合は、大会前日の6/12(金)午後5時までに事務局へ郵送、または持参する。(事前に前事務局に連絡) 6/14(日)に持参は失格

テレビドキュメント部門・創作テレビドラマ部門

✓	提出書類・作品	提出締切日	提出先
	番組進行表 (2部) ※NHK杯全国高校放送コンテストで指定の様式を使用する。 PCでデータ入力し、印刷したものを提出する。	6/13日(土) 午前9時	会場受付
	作品 MP4形式のデータファイル CD-RまたはDVD-R(2枚)		

研究発表部門

✓	提出書類等	提出締切日	提出先
	番組進行表 (2部) ※NHK杯全国高校放送コンテストで指定の様式を使用する。 PCでデータ入力し、印刷したものを提出する。	6/13日(土) 午前9時	会場受付
	パワーポイントスライドのPDFデータを印刷したもの ※ファイル>エクスポート>PDF/XPF ドキュメントの作成で作成し、A4縦に片面印刷したものを番組進行表の後ろに重ねて綴じる。		
	パワーポイントで作成した研究発表データ CD-RまたはDVD-R(2枚)		

指定の様式は、NHK杯全国高校放送コンテストのホームページからダウンロードしてください。
昨年度以前の様式は使用できません。

NHK杯全国高校放送コンテストのホームページ https://hosokyoiku.jp/ncon_h/info/

※研究発表で、音声データや映像データを使用する場合は、パワーポイントの中に組み込んで下さい。
ただし、特殊なコーデックは使用しないで下さい。
令和7年度から、会場のPCにないフォントを使用したことによるフォントの文字化けやイメージの変化を防ぐため、「ファイルにフォントを埋め込んでおくこと」が追加になりました。

また、パワーポイントのデータ容量が300MB以内に変更になりました。

番組部門の作品、研究発表部門のデータについては、「校内放送研究」No.199(2026.3)をよく読んで、規格に間違いないように注意すること。事務局で用意する機器で再生できない場合は、失格となります。

令和8年度 第73回大会における県予選、全国大会の変更点・注意点

全国大会での審査について

- ・アナウンス部門と朗読部門のオンライン審査はありません。全て会場での発表になります。（昨年同様に従来と同じ形です。）
- ・番組部門（研究発表を除く）の準々決勝は、オンライン審査になります。ただし、準決勝進出校の発表は準決勝当日の7月22日（水）になります。7月21日（火）は、審査は行いませんが、発表は行います。

番組部門について

- ・全部門共通
著作物について、令和3年度からオンライン審査が導入されたため、許諾条件に「配信」が可能かどうか、が付け加わりました。配信が許可されない著作物は使用できません。オンライン審査以前からNコンWEBで優秀作品がWEB公開されていますが、優秀作品は、特別な手続きをNHKが行っていました。
- ・今年度も提出物チェックは、準々決勝が終わった後で、準決勝に進出の可能性のある作品しか行いません。オンライン公開された後なので、権利処理が不十分な作品は、後で分かった場合に訴えられる可能性があるので、ご注意下さい。きちんと手続きを踏めば数千円や数万円で済むことが、**訴えられ裁判になると損害賠償で数百万円の賠償になることもあります** のでご注意下さい。**分からないものは使わないが原則**です。高校生のしたことだからと許してもらえないことではないので、顧問の先生は、制作過程で特に注意をして下さい。
- ・ラジオドキュメント部門、創作ラジオドラマ部門においては、MP3形式の音声データです。音楽CD形式ではないので、間違えないようにして下さい。
作品の前後に2秒程度のブランク（無音）を入れる。
前後の2秒ずつ合計4秒は、作品の制作時間に含めません。これは、始めや終わりの音声は再生されないエラーに対応するための変更です。（令和6年度 第71回大会から）
県予選において、音楽CD形式で制作して持参した場合は、失格とします。審査しません。
- ・テレビドキュメント部門、創作テレビドラマ部門においては、MP4形式の映像データです。DVDビデオ形式ではないので、間違えないようにして下さい。
県予選において、DVDビデオ形式で制作して持参した場合は、失格とします。審査しません。
- ・フレームレートに関する規定が追加になりました。
「フレームレート29.97fps（30fps）のみ。」（令和7年度 第72回大会から）
最終的にMP4ファイルに出力する際にご注意ください。

研究発表について

- ・県予選、全国大会ともに会場で発表してもらいます。オンライン（リモート）ではありません。
- ・データ容量の上限が、令和7年度から300MB以内に変更になりました。
- ・令和4年度からCDプレーヤーとDVDプレーヤーが発表環境からなくなりました。
発表で、音声データや映像データを使用する場合は、パワーポイントに組み込んで下さい。
全国大会で使用するパソコンは、Windows11・パワーポイント2021になります。
制作したパソコン以外のパソコンで正常に動作するか必ず確認して下さい。
- ・研究分野をⅠ類、Ⅱ類、Ⅲ類と分けます。どの分野の研究かは、自己申告（番組進行表に記載）する。類型に分けますが、類型ごとに推薦するわけではありません。分野（類型）に関わらず推薦します。
- ・令和5年度から、禁止されていたパワーポイントで作成するスライドの画面切り替え効果とアニメーションの使用が復活しました。以前は、作成者のPCと発表で使用するPCのバージョンの違いによる動作不良トラブル防止のため禁止されていましたが、発表前チェック日をもうけることで事前に確認でき回避できると考えられるためです。審査においては、従来の審査の形に戻り、**県予選においてはこれらの効果を審査の対象とします。**
- ・全国大会での発表を行った中から2発表（2校）に決勝大会で発表する機会が与えられます。発表参加校による他薦で決まります。

<全国大会>

- ・番組部門（研究発表を除く）のみ、準々決勝審査は、データ審査になります。
番組部門はオンライン審査で行いますが、準決勝進出作品の発表は7月22日（水）になります。
7月21日（火）は、オリンピックセンターで作品公開になります。
- ・この他、校内放送研究No.199（2026.3）の4～5ページもお読み下さい。

校内放送研究No.199（2026. 3）のダウンロードのご案内

NHK杯全国高校放送コンテスト栃木県予選に参加する学校は、NHK杯全国高校放送コンテストのホームページから要項等をダウンロードしてください。通信費節約のため各校へ「校内放送研究No.199（2026. 3）」を冊子での配布はしておりません。ご了承下さい。5月15日（金）に小山西高校で行われる放送専門部会総会にて配布します。

校内放送研究No.199（2026. 3）

「第73回NHK杯全国高校放送コンテストならびに校内放送活動研究集会要項」

アナウンス部門と朗読部門の原稿用紙、ラジオ番組とテレビ番組の番組進行表、研究発表部門の研究発表進行表の様式、テレビ番組のカラーバー（テストパターン）は、次のアドレスからダウンロードしてください。

令和5年度から番組制作の注意点が校内放送研究（赤本）から、NHK杯全国高校放送コンテスト委員会のホームページに「番組部門制作関連資料」として独立し、令和7年度から「番組部門規定 細則」になりました。紙ベースでの配布は、ありませんので、各校でダウンロードしてご利用ください。

NHK杯全国高校放送コンテスト委員会（放送教育ネットワーク）のホームページ

https://hosokyoiku.jp/ncon_h/info/

不明な点は、そのままにせず、前 NHK杯全国高校放送コンテスト都道府県担当者の坂本一隆（さかもと かずたか）まで、お問い合わせください。

E-mail : tochigihousou@watv.ne.jp

令和 8 年度栃高文連放送専門部会第 4 8 回放送コンテスト
兼
第 7 3 回 N H K 杯全国高校放送コンテスト栃木県予選

開 催 要 項

(令和 8 年度版)



NHK杯全国大会への推薦予定数

アナウンス部門		6名
朗読部門		6名
番組部	ラジオドキュメント部門	4作品
	テレビドキュメント部門	4作品
	創作ラジオドラマ部門	2作品
	創作テレビドラマ部門	2作品
研究発表		2発表

※ アナウンス・朗読部門は、1名1部門とする。

※ 番組は、1部門に、1校1作品とする。

放送コンテスト県大会要項

1. コンテストの各部門

- (1) アナウンス (2) 朗読 (3) 研究発表 (4) ラジオドキュメント
(5) テレビドキュメント (6) 創作ラジオドラマ (7) 創作テレビドラマ

2. 審査員

- (1) 専門職審査員（NHKアナウンス担当職員および番組担当職員あるいは、アナウンス、番組制作を職業とする者。または、これに準じる者）。
(2) 栃高文連放送専門部会役員（主にコンテスト委員）。
(3) 各高校の放送部顧問。
(4) 栃高文連放送部会の推薦する者。

3. 表彰

(1) 部門賞

	アナウンス 朗 読	研究発表	ラジオドキュメント テレビドキュメント	創作ラジオドラマ 創作テレビドラマ
最優秀賞	1	1	1	1
優 秀 賞	5	1	3	1
優 良 賞	3	1	2	1

上記表の部門賞には賞状を与え表彰する。

トロフィーに貼るプレートは、後日事務局より受賞各校へ送付する。

トロフィーは、最優秀賞のみに授与する。

(2) 学校賞

審査規定により各部門の順位を決定し、それぞれの部門の順位点を合計したものを、各学校の得点とする。得点の高い上位3校を表彰する。

優 勝：賞状及び優勝カップ（持ち回り）を与える。次年度にレプリカ（楯）を贈呈する。

準優勝：賞状及び準優勝カップ（持ち回り）を与える。次年度にレプリカ（楯）を贈呈する。

第3位：賞状を与える。

4. 日程

- 第1日 令和8年6月13日（土） 8:30 ～ 16:30
朗読部門審査
研究発表・ラジオドキュメント・テレビドキュメント・創作テレビドラマ部門審査
創作ラジオドラマ部門作品・番組進行表提出（6/14（日）に持参した場合は失格）
- 第2日 令和8年6月14日（日） 8:30 ～ 16:00
アナウンス審査・第1日目の結果発表
創作ラジオドラマ部門審査
全部門審査結果発表・全部門表彰式

5. 参加資格

2026年7月現在、県内高等学校及び中等教育学校の後期課程、特別支援学校の各高等部、高等専門学校（第3年次までの生徒）、専修学校及び各種学校（修業年限が高等学校と一致していること）に在学中の生徒及びその生徒の制作した作品であること。他のコンテスト・コンクール等に参加した作品及びそれを改変した作品の参加は認めない。

参加校の顧問は、コンテストの審査・運営に携わる。

放送コンテストですので、県予選、全国大会ともに大会の様子がNHKで放送されます。テレビに映りたくない生徒は、参加できません。参加している生徒は、大会の様子がテレビで放送されることがあることを了承しているものとして取り扱います。

6. 参加申込み（エントリー）

- (1) **アナウンス部門・朗読部門は、各部門1校6名まで**（1名1部門に限る）。

※同じ生徒がアナウンスと朗読の両方に出場することはできません。

ただし、(2)の部門（研究発表、番組部門）の参加を認める。朗読部門に出場する生徒は番組の発表、研究発表と審査が重なる場合があります。注意してください。

- (2) 研究発表、ラジオドキュメント、テレビドキュメント、創作ラジオドラマ、創作テレビドラマ部門は各部門とも複数の参加を認める。

ただし、全国大会への推薦は各校とも各部門1作品に限る。

制作生徒が異なる場合でも1部門1校となるので注意してください。

※研究発表をおこなう生徒は、朗読の発表と重ならないようにすること。

番組審査時は、代表生徒または、それに準じた生徒が必ず自校作品の発表に立ち会うこと。

7. 参加費

- (1) アナウンス・朗読部門は1名につき **1,000円**。

- (2) ドキュメント・創作ドラマ部門および研究発表は1作品につき **1,500円**。

第1日目に会場受付で学校毎に2日分をまとめて納入して下さい。1日目に参加しない学校（アナウンス部門のみに参加）は第2日目に納入して下さい。なお、5月30日（土）以降及び当日のキャンセルは参加料をいただきます。

事務局では、釣り銭用の小銭は用意しておりません。おつりのないようにご協力ください。

8. 決勝進出等について

- (1) アナウンス、朗読の決勝進出者について

決勝進出者は予選順位の上位15名とする。

ただし、15位が複数の場合は15名を超えて15位まで全員

- (2) アナウンス、朗読の決勝について

ア. 決勝進出者発表終了後、その会場で課題原稿（事務局で用意）を配布する。

イ. アナウンス部門の決勝は、自分の原稿と課題原稿（決勝進出決定時に配布する指定原稿の中から1つ選ぶ）を続けて読む。

自分の原稿は、決勝においても、アナウンスのはじめに、番号と氏名を読むこととし（学校名は読まない）、時間はそれらを含め、1分10秒以上1分30秒以内とする。時間に満たない場合や超えた場合は失格となる。

ウ. 朗読部門の決勝は、自分の原稿と課題原稿（決勝進出決定時に配布する指定原稿の中から1つ選ぶ）を続けて読む。

自分の原稿は、決勝においても、朗読のはじめに、番号、氏名、作者名（訳者名は読まない）、作品名を読むこととし（学校名は読まない）、時間はそれらを含め1分30秒以上2分以内とする。時間に満たない場合や超えた場合は失格となる。

決勝進出決定時に配布する指定原稿については、作品、作者名は読まない。

- (3) 研究発表、ドキュメント、創作ドラマについては、予選を行わない。

放送コンテスト県大会規定ならびに学校賞得点基準

1. 放送コンテスト県大会規定

「校内放送研究」№.199（2026.3）の内容に準じる。

注意点：各部門の「時間」一覧

アナウンス部門	1分10秒以上1分30秒以内
朗読部門	1分30秒以上2分以内
ラジオドキュメント部門	6分30秒以上7分以内
テレビドキュメント部門	7分30秒以上8分以内
創作ラジオドラマ部門	8分以内
創作テレビドラマ部門	8分以内
研究発表	8分以内

※ 規定時間違反は失格となります。

研究発表部門は、減点

2. 学校賞に係る各部門の順位得点について

(1) 各部門の各順位の得点は、下記の順位得点表による。

① 参加者（作品）全員に参加点を与える。

② 上位の者（作品）には、参加点＋各順位の点数を与える。

(2) 同点の場合は、学校賞の得点集計においては同順位として扱う。

審査の規定の1.の(3)のウまでの順位で得点を与える。

<各部門の順位得点表>

アナウンス・朗読部門

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7～9位	10位～決勝進出	参加点
得点	9	8	7	6	5	4	3	2	1

研究発表部門

順位	1位	2位	3位						参加点
得点	8	7	6						2

ラジオドキュメント・テレビドキュメント部門

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位			参加点
得点	8	7	6	5	4	3			2

創作ラジオドラマ・創作テレビドラマ部門

順位	1位	2位	3位						参加点
得点	8	7	6						2

1. アナウンス・朗読予選・決勝審査規定

(1) 審査員は7名とする。

ア 専門職審査員（1名）

イ コンテスト委員（6名）

ただし、専門職審査員の都合がつかない場合は、コンテスト委員6名で審査を行う。また、各学校の放送部顧問は、コンテスト委員と同様に審査を担当することができる。また、上記審査員以外に計時係を一人置く。足りない場合は審査員の一人が兼ねる。

(2) アナウンス、朗読は、予選を行いそれぞれ上位15位までを決勝進出者として、決勝を行う。

(3) 予選の順位決定

ア 専門職審査員の与えた点をAとする。

イ コンテスト委員6名が与えた点のうち、最高点と最低点をカットした4名分の得点をBとする。

ウ A+Bの得点が高い順に順位を決定する。

エ 合計点が等しい時は次の順序で決定していく。

① 専門職の得点高い方

② カットされた得点のうち、最高点が高い方

③ カットされた得点のうち、最低点が高い方

④ カットされない得点の中の最高点が高い方

⑤ 利害関係のない審査員（当該校の顧問が審査員の場合は外し、残りの審査員）による決選投票をおこない多数決で決める。

⑥ ⑤までで同点の場合は、審査員全員で協議し次年度からその方法を⑥として規定に加える。

(4) 決勝の順位決定

決勝は、予選の得点を参考としない。また、審査員が与える得点は、60点を最低点とする。

その他は、予選の順位決定と同じ方法で決定する。

2. 研究発表・ドキュメント・創作ドラマ部門審査規定

上記各部門は、予選を行わず1回の審査で順位を決定する。

審査員の構成や順位の決定は、1.の部門と同じとする。

3. 放送コンテスト県大会の審査基準

「校内放送研究」№199（2026.3）の内容に準じる。ただし、研究発表は、コンテスト形式の最後が1999年なので、№116（1999.7）に準じる。

4. 放送コンテスト県大会の様式

「校内放送研究」№199（2026.3）の内容に準じる。

必ず、今年度の様式をコンテストのホームページからダウンロードして下さい。

https://hosokyoiku.jp/ncon_h/info/

昨年度以前にダウンロードした様式は使用しない。

今年度以外の様式を使用した場合は、減点対象となる。



研究発表部門の審査基準（No.116（1999.7））の写し+県大会での運用

1. 発表時間について

- ① 研究発表の持ち時間は8分以内とする。
- ② 計時スタートは、発表者の第一声からとする。
（全国大会においては機材の調整時間も含めて、8分以内となっているので注意すること。）
- ③ 計時終了は、発表者の発表終了の時点。
※発表終了がわかるような発表にしてください。（ご清聴ありがとうございました。）
- ④ 発表開始8分後に、第1鈴（卓上ベル）。さらに30秒後に第2鈴。
※県予選においては事務局でベルが用意できないので、④の時間超過のお知らせはしません。
発表者は、時間オーバーにならないように練習してきてください。減点はします。
- ⑤ 8分以後、超過30秒ごとに各審査員の付けた得点から満点の5%ずつ減点。
（8分を超えた場合、8分30秒までは、5点減点、9分までは、さらに5点減点）
- ⑥ 9分以上の発表は直ちに中止。
※9分を過ぎた段階で、進行担当者から発表中止の命令を出します。（失格ではありません。）

＜県予選のみの規定＞

準備は前の発表者終了後の撤去を入れて2分以内。

審査開始前にPC担当生徒にPCの操作説明をおこないます。（リハーサルではありません。）

2. 審査の視点と配点

点数は100点法

ア. テーマ点（30点）

- | | |
|----------------------|---------------|
| a テーマをよくとらえ見事に表現している | b テーマにふさわしい |
| c テーマにふさわしいが今一步 | d テーマがややずれている |
| e テーマにふさわしくない | |

イ. 実践や取り組みの程度（40点）

- | | | |
|------------|------------|----------|
| a 特にすぐれている | b すぐれている | c ふつうである |
| d やや劣る | e はなはだしく劣る | |

ウ. 発表の技術（30点）

- | | | |
|------------|------------|----------|
| a 特にすぐれている | b すぐれている | c ふつうである |
| d やや劣る | e はなはだしく劣る | |

研究発表部門における注意事項とお願い

- ・コンテスト事務局が用意するバージョン（**県予選で用意するPCは、Windows11、PowerPoint2021です**）と制作校のバージョンが異なると、パワーポイントのスライドが意図したとおりに動作しない場合があるので注意してください。**全国大会も、Windows11、PowerPoint2021です**。
- ・PCを購入した時の状態でインストールされていないアドインソフトなどは、インストールされていないために使用できない場合があります。持参したデータが正常に使用できない場合も事務局では責任を持ちません。また、事務局で用意したPCにアドインソフトがインストールされていないことによる、自校PCの使用は認められませんので注意してください。映像データを特殊な方法で圧縮したり、再生しようとするPCによる互換性が著しく落ちますので注意してください。
- ・参加校には、県予選で事前に使用する機器の確認をいたします。電子メールでご連絡ください。
PC以外で事務局で用意する機材
- ① 使用するマイクの本数（1本か 2本か）
- ② PCから音声を出力するか。しないか。
- ※ レーザーポインターは各校持込み可（事務局は用意しません）
- ※ 令和8年度の全国大会の要項から、卓上ライトとレーザーポインターの規定がなくなりました。

研究発表使用機材について

6月13日（土）の栃木県予選にて使用する機材の確認を致します。

準備の都合上、使用機材の確認を別紙にて、

5月29日（金）までに電子メールにて上三川高校の関 望美先生までお知らせいただきますようお願いいたします。

使用できる機材については、校内放送研究 No.199 をよくご確認ください。

- ・ 使用できるマイクについては、県予選では、ワイヤレスマイクです。
使用する本数をお知らせください。使用しない場合は、0本と記入
- ・ P Cから音声を再生する場合は、必ずお知らせください。
- ・ 卓上ライトは、全国大会の規定からなくなりました。事務局では用意しません。
- ・ レーザーポインターを使用する場合は、各参加校で準備します。
- ・ **事務局で** Windows11、PowerPoint2021 を用意し、大会を実施します。

注意

- ・ パワーポイントに特殊な圧縮方法を使用したビデオデータや音声データを使用した場合、再生できないことがあります。（再生できません。）
購入したばかりの新品のP Cで再生できないデータは、再生できないと考えてください。
再生させるために審査で使用するP Cに、コーデック等をインストールすることは認められません。
- ・ C Dプレーヤー、D V Dプレーヤーは、使用できません。

N H K 杯全国高校放送コンテスト栃木県予選
研究発表使用機材について

5月29日（金）までに、上三川高校 関 望美先生 seki-n01@tochigi-edu.ed.jpへ

送信者	<div>_____学校</div> <div>氏名 _____</div>								
<div>マイクの使用本数 _____本</div> <table><tr><td colspan="2">↓ 使用する機材に ○ をつける。</td></tr><tr><td></td><td>PC（1台）</td></tr><tr><td></td><td>PCからの音声出力 → 有 ・ 無</td></tr><tr><td></td><td>レーザーポインター（1個） ※使用する場合は、各参加校で準備してください。</td></tr></table> <div>その他の連絡事項</div>		↓ 使用する機材に ○ をつける。			PC（1台）		PCからの音声出力 → 有 ・ 無		レーザーポインター（1個） ※使用する場合は、各参加校で準備してください。
↓ 使用する機材に ○ をつける。									
	PC（1台）								
	PCからの音声出力 → 有 ・ 無								
	レーザーポインター（1個） ※使用する場合は、各参加校で準備してください。								

栃木県立宇都宮工業高校でのお願い

この施設は、宇都宮工業高校の先生のご協力を得て、無料でお借りしています。
節度を持って利用してください。

生徒のみなさんへ

- (1) **上履きを持参する。**
- (2) 自転車は、駐輪場を使用する。
- (3) コンテストで使用している会場以外には立ち入らない。
- (4) 施設内の電源を使用しない。
- (5) 大会事務局（小山西高校職員）の指示に従い、不明な点は必ず質問すること。
- (6) 昼食は感染防止のため、屋外で食べる。雨天時は別途連絡します。
大講義室・会議室は飲食禁止なので注意すること。
- (7) 発声練習は、屋外で、近隣住民に迷惑とならない方向を向いて行う。

先生方へ

- (1) 敷地内禁煙です。おタバコはご遠慮ください。

※コンテストは、一般の方に対して原則非公開で実施しています。保護者の見学はできません。保護者が見学に来ることのないように、事前に周知しておいてください。